

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ) グローバル・メディア・スタディーズ学部	フリガナ) カガミヨウコゼミナール
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	各務洋子ゼミナール

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ショクジ・ケンコウチーム	フリガナ) ナカジマユウキ	6	無	
食事・健康チーム	中嶋優希			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

学生の食事に関する PARADOX～先進国日本の食事選択～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

「食への意識を改善させ、未来について考える」

本研究は、女性の健康状態に関連した低体重出生児の割合を減少することを目的とする。

日本の大学生は途上国の食事と同じインセンティブで食事を選択している。その要因として、味が良いものが低価格で多量に摂取することができる環境にあるため、栄養を考えない偏食傾向にある。

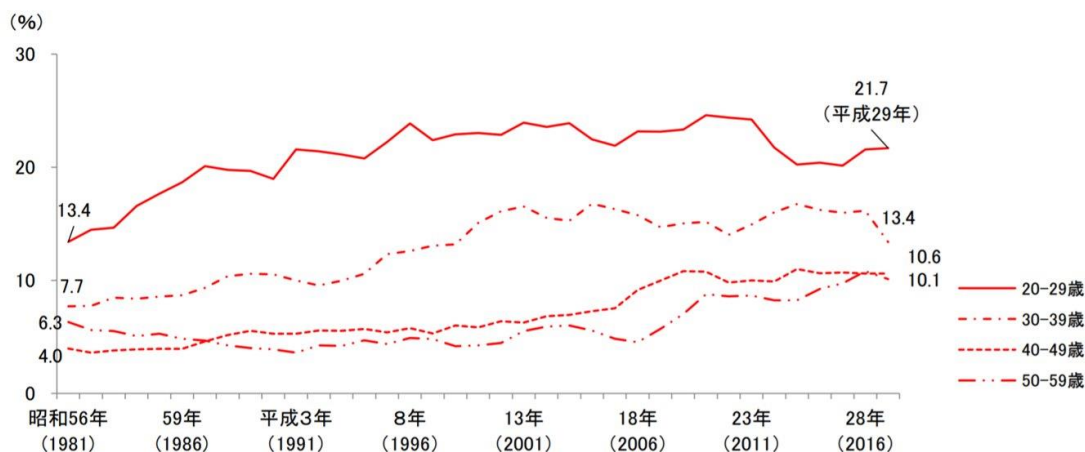
そこで、学内で栄養に関する知識を広めることにより、バランスの取れた食事を摂取するよう意識を変え、自己マネジメントを推進する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

厚生労働省の平成 29 年度の「国民健康・栄養調査」によると、痩せ型の女性の割合は全年代で見た場合 1 割程度に抑えられているが、20 代女性は 5 人に 1 人が痩せ型体型であるという結果が出ている。痩せ型体型であると、低体重出生児出産の可能性が急激に高まり、子供の発達障害に繋がる恐れが懸念される。尚且つ日本の現状として、日本における体重 2500 グラ

ム未満の低体重児が生まれる割合は、1975年の5.1%に比べ我々が生きている2019年は9.1%と約2倍となっており格段に高い。この結果、20代女性の痩せすぎ問題を解決する必要があると考えた。

図19 やせの者(BMI<18.5 kg/m²)の割合の年次推移(20~59歳、女性)



(厚生労働省の平成29年度「国民健康・栄養調査」)

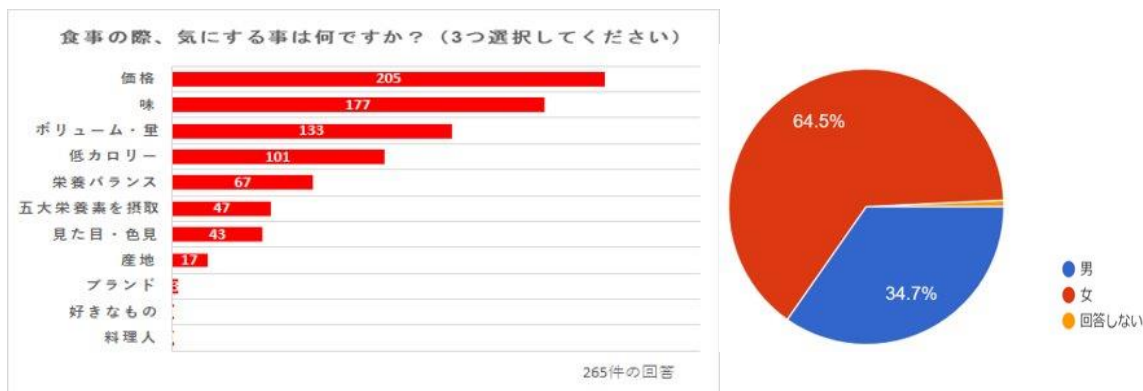
3. 研究テーマの課題

“日本人大学生の食に対する意識調査”を実施するにあたり、駒澤大学生265名を対象に「食事の際、気にすること」を11項目の中から3つ選択してもらい、アンケート調査を行った。

【期間】2019年5月30日～6月12日

【回答者】駒澤大学生265名（男子92名、女子171名）

“日本人大学生の食に対する意識調査”を実施するにあたり、駒澤大学生265名を対象に「食事の際、気にすること」を11項目の中から3つ選択してもらい、アンケート調査を行った。



アンケート調査の結果、日本の大学生が食事の際に気にする事として最も多く回答されたものは、1位「価格（77.4%）」、2位「味（66.8%）」、3位「量（50.2%）」、4位「低カロリー（38.1%）」ということが分かった。そして、これは発展途上国の人たちの「低価格・低カロリー・多量」と同じような食べ物を、自ら選択しているということが判明した。

この実態からも、私たち大学生は食の意識改革が必要だと判断した。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「20代女性のSTOP痩せすぎプロジェクト」

課題解決のため、私たちは「20代女性のSTOP痩せすぎプロジェクト」を提案する。このプロジェクトでは栄養を摂取することのメリットと痩せ過ぎによるデメリットを知ってもらうことを目的とする。

・栄養バランスを考慮したセットメニューの提案

大学内のコンビニや学食で商品の組み合わせによる栄養バランスを考慮したセットメニューを掲示、そこへカロリー数や栄養バランスを表示し、食事の数値を可視化することで食事選択の意識改革を目指す。

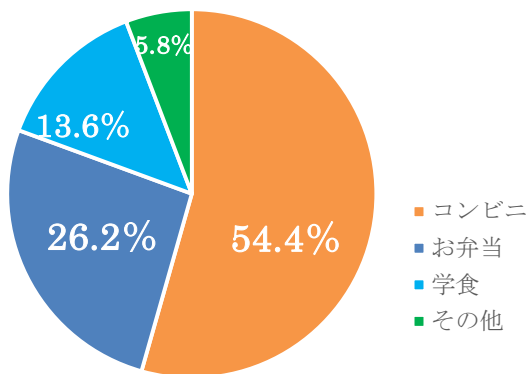
5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

駒澤大学の女子学生、103名に対して、昼食を多く取る場所や、栄養バランスを考えたセットメニューを提案された場合についてのアンケート調査を行った。

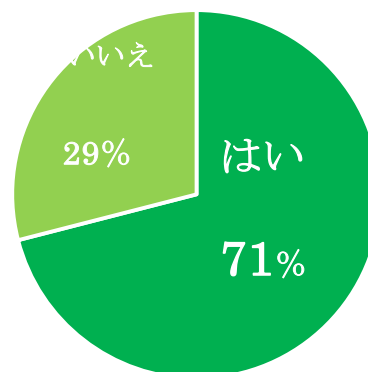
【期間】2019年9月19日～20日

【回答者】駒澤大学生（女子）103名

Q.昼食はどこで取りますか？



Q.コンビニで栄養を考えたセットメニューを提案された場合、選ぶ際に影響するか。



アンケート調査によると「昼食はどこで食べますか」という問いに対して、半数以上の人がコンビニと回答。さらに、「コンビニで栄養を考えたセットメニューを提案された場合、昼食を選ぶ際に影響するか」という問いに対して、7割の人が「はい」と回答した。以上の結果から、コンビニ食を使ったセットメニューの提案が、女子大学生に大きく影響を与えることが判明した。

6. 結果や今後の取り組み

【全体のまとめ】

アンケートを行った結果、発展途上国の子供の食事と日本の大学生の食事は「低カロリー」「低価格」「多量」の3点で共通していることがわかった。これは日本の女性の痩せ過ぎの問題に関係する。実際には20代女性の5人に1人が痩せ型である。大学生を対象に行ったアンケートでは半数以上が食事の偏りを自覚している。痩せすぎは、低体重出生児が生まれる可能性を高くする。低体重で生まれると、発達障害などのリスクが高まる。1975年と2019年で体重2500グラム未満の低体重時が生まれる割合は5.1%から9.1%に増加している。そこで20代女性をターゲットに、食事選択の自由にある先進国日本と発展途上国とのPARADOXに意識を向けさせ、食生活の改善による自己マネジメントを推進する。

【今後の取り組み】

私たちは「20代女性のSTOP痩せすぎプロジェクト」を提案する。具体的な内容は、大学内のコンビニで低価格かつ栄養バランスのとれたメニューや商品の組み合わせを提案する。駒澤大学内でプロジェクト実施した後、他大学でアプローチを試みる。長期的な目標は女性の痩せ過ぎを改善し、低体重出生児の割合を下げることである。そのためには食への意識を改善させ、未来への健康を促進することが必要である。

7. 参考文献

『実践アンケート調査入門』内田治、醍醐朝美著 日本経済新聞社

『アンケート調査の進め方』酒井隆著 日経文庫

『図解アンケート調査と統計解析がわかる本』酒井隆著 日本能率マネジメントセンター

ユーグレナ GENKI プログラム：<https://www.euglena.jp/genki/>

日本リザルツ公式：<http://resultsjp.sblo.jp/article/185148517.html>

日本ユニセフ協会 特集栄養不良：<https://www.unicef.or.jp/news/2018/0151.html>

厚生労働省 平成29年「国民健康・栄養調査」：https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189_00001.html

厚生労働省 平成29年「国民健康・栄養調査」：https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000177189_00001.html

2019年1月26日 日本経済新聞 夕刊1頁

内閣府 世界経済の潮流 2014年Iまえばき：https://www5.cao.go.jp/j-j/sekai_chouryuu/sh14-01/s1_14_0_2.html

内閣府 平成 30 年版高齢社会白書（全体版）: https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w2018/html/zenbun/s1_2_2.html

<企画シート作成上の注意>

- ※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。
- ※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。
- ※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。
- ※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。
- ※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください